



富良野市教育委員会学びのまち推進課学びのまち推進係

電話 0167-39-2318 文責：上用 眞一郎

今日は、3月11日です。

## 東日本大震災から 15 年…

「ママへ。いきているといいね おげんきですか」

震災直後、新聞に掲載された一枚の写真。小さな女の子が鉛筆を握ったまま眠っています。ノートいっぱいに広げて大きな字でママに書いた手紙…

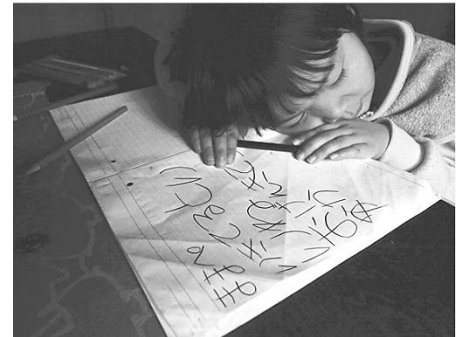
「ママへ。いきているといいね おげんきですか」

そして

重機の免許を取り、行方不明になったわが子を探し

続ける母…

胸が苦しくなります。



2011年3月11日金曜日。あれから15年。

最近、いろいろと考えることが多いです。

時間が経つと、痛みは「記憶」になり、記憶は忘れることで痛みから逃れるものかもしれません。

しかし、それは同時に同じ過ちを繰り返す危険が伴うとも言えます。

災害も戦争も、私たち北海道人もどこか遠い場所の出来事のように感じてしまっていないでしょうか。

情報が溢れる毎日、国内外では次々と事件や事故が社会の一面を覆ってしまい、本当に大切なもの、人間として生きる上で忘れてはいけない最低限の倫理が見失われているように感じてなりません。

暴力に対しては「ノー」、差別に「ノー」、命を軽んじる言動には「ノー」、そして戦争に対して「ノー」と言える私たちでありたいと強く思います。

中東紛争、ウクライナ紛争、台湾海峡の緊張…世界の平和は揺らいでいます。

津波で両親と妹を亡くし、ただ一人助かった当時4歳の写真の女の子は、その後祖母に育てられ、「人の役に立ちたい」と看護の道を選んだといっています。



また、重機で娘を探し続けた母、震災から半年後、海で見つかった遺体の一部が DNA 鑑定で娘と確認されたということです。「帰ってきてくれてうれしい」と母…  
それでもなお、他の子どもたちを探し続けたということです。

報道でも震災から 15 年を迎える時点で行方不明者は 2,500 人以上ということです。  
直接の死者と震災関連での死者と合わせると 26,000 人を超えていると言われています。  
混沌としていて平和を脅かす危険を孕んでいる国際情勢、頻繁に起きる地震、日本列島はいつどこで大きな揺れに襲われてもおかしくない状況、私たちの足元が大きく揺らいていることは紛れもない事実です。

だからこそ、私たちは純粋に学びの訓練を忘れてはなりません。

その意味で、ことぶき大学はとても大きな意義があると思います。

過去の出来事から学び、社会の動きを知り、人としての倫理を磨き、そして富良野で生きる。

学び続けることは、私たち一人ひとりが生きている限り、次の世代に受け繋いでいく責任があります。

15 年前の今日、私は名寄東中学校で卒業式前日、14 時 46 分 18 秒、1000 年に一度（日本の観測史上最大となるマグニチュード 9.0）の東日本大震災が発生しました。揺れの数分後には三陸沿岸に巨大津波が押し寄せ、さらに原発事故も重なり、甚大で広範な被害が生じました。

私の頭の中は翌日の卒業式がすっかり抜け落ちていました。

今年も再び 3・11 がめぐってきました。あの災厄を体験した人もそうでない人も、犠牲になった人たちを心から悼み、合掌。

あの日、あの時ことぶき大学の皆さんは、どう過ごしていましたか。

## 本日、3月11日(水)

○ 「吾が思い出の記」原稿締切

○ 午後は、卒業作品展示作業

9 時 30 分：朝の集い

10 時 00 分：クラブ学習第 13 回最終回

◎ 記念写真撮影…最初、陶芸クラブから撮影に行きます。

◎ 卒業作品展の確認お食事会

12 時 00 分：昼休み・休憩

複合庁舎に移動

13 時 00 分：卒業作品展示作業

終了後、自治会役員会を開催します。

学年委員の方も集合してください。

# 次回、3月18日(水)は卒業・修了証書授与式

## <証書授与式の流れ>

- 1 開会
- 2 国歌・市歌斉唱
- 3 市民憲章朗唱  
代表 富良野校本科1年 佐藤 悟さん
- 4 学事報告
- 5 卒業証書並びに修了証書授与
- 6 皆勤賞・精勤賞授与  
代表 富良野校本科4年 岡本 恵子さん
- 7 学長式辞
- 8 来賓祝辞  
北市長 渋谷議長 水間道議
- 9 来賓紹介  
岡田先生(茶道) 小川先生(絵手紙)  
大橋先生(書道) 赤尾先生(コーラス)  
鴫田先生(リズムダンス) 橘先生(俳句)
- 10 送辞  
代表 山部校本科1年 穴戸 義昭さん
- 11 謝辞  
代表 山部校本科4年 久保 恵子さん  
// 東海林幸子さん
- 12 思い出の映像
- 13 校歌斉唱
- 14 閉会

## 【皆勤賞受賞者】

### 富良野校

- ◎ 本科3年 北川 敦彦さん
- ◎ 本科4年 上村 恭子さん
- ◎ 本科4年 岡本 恵子さん
- ◎ 研究生 宮西 久子さん
- ◎ 第2研究生 原 あけみさん
- ◎ // 加瀬谷利江さん
- ◎ // 高田江美子さん
- ◎ // 西田マサ子さん

### 山部校

- ◎ 本科1年 穴戸 義昭さん
- ◎ 本科2年 五十嵐みよこさん
- ◎ 本科3年 野口ゆう子さん
- ◎ 本科4年 氣田 美鈴さん
- ◎ // 久保 恵子さん
- ◎ // 千葉 律子さん
- ◎ 大学院1年 濱口智慧子さん
- ◎

## 【精勤賞受賞者】

### 富良野校

- 梶川 利春さん 後藤 孝行さん
- 室崎 智美さん 柏木 達夫さん
- 菊田 明美さん 田賀美津子さん
- 伊藤 公雅さん 平澤 那子さん
- 竹田ゆみ子さん 西濱 千汐さん

### 山部校

- 千葉 晃一さん 東海林幸子さん
- 一永 俊彦さん

## 3月17日(火)13時~卒業式前日リハーサル 複合庁舎 文化会館「サンエーホール」

卒業式の前日準備の中で、リハーサルを行います。

是非都合をつけて参加してください。

- ◎ 市民憲章朗唱 富良野校 佐藤さん
- ◎ 皆勤賞授与 富良野校 岡本さん
- ◎ 送辞代表 山部校 穴戸さん
- ◎ 謝辞代表 山部校 久保さん  
// 東海林さん

13時から16時まで、会場準備とリハーサルにサンエーホールを借りています。都合で来られない方は、事前に事務局まで連絡してください。



(道新3/7)

月夜よくまなく照らす散歩道

高田江美子

皮ジャン着若き気分でひとり酒

四宮 時夫

## 続・新年度の学習要望アンケート

⑱ 市議会傍聴

⑲ スマホ教室

⑳ ことぶき大学に入って、今までしたことがないことを沢山経験できました。多分これからはしないだろうと思うこともあります。色々楽しい時間を過ごすことができました。

作者の生い立ちを入れながら文学の話をしてくれる時間・・・これからよろしくお願いします。

㉑ 旭川市立大学出張講座で学ぶ…地域は人口減少が続いているが、このことは地域経済の衰退にも繋がると思います。この対策について本市も年々人口減少が続いています。

いろいろなご意見ありがとうございました。この市議会傍聴、大学の出張講座や文学の散歩道も計画していきたいと思っています。また、ことぶき大学トレーナーですが、希望者を募って試験的に導入してもいいかなとも思っています。

## 映画同好会「上映する映画変更」のお知らせ

今週14日(土曜日)に予定していた「ショコラ」は事前に視聴してみましたらDVDに傷があり見難かったので、急きょ「リチャード・ジュエル」に勝手ながら変更することにしました。よろしくお願いします。なお、お茶会は変更なくやります。お楽しみに!

## ティー・タイムコーナー



中東・ウクライナ・台湾海峡…対立は依然深刻で、紛争は収束の見通しがつかない。震災を経験した日本だからこそ、唯一被爆国日本だからこそ、本来は世界に向けてもっと強く発信できるはずだと思っています。でもこの歴史が「生きる知恵」になっていない。歴史は「知識」としては残るのに、同じ過ちが繰り返されてはならないのに、「行動」や「判断」には結びつかないのは何故なのだろう。

震災の教訓が防災につながったように、誰かの痛みが、別の誰かの命を救うこともあります。問題は、その教訓を“自分のこと”として受け入れられるかどうかだと思います。

震災で見せた日本の姿は、「命を守るために動く人間の力」であり、忘れかけていた“命の重さ”を思い出させるはずです。

日々の暮らしの中で、誰かの言葉に耳を傾け、誰かの痛みに寄り添い、そして自分の行動を少しだけ変えてみる。その積み重ねが、次の世代へ渡す“生きる知恵”になるのだと思います。思想・信条・宗教を超越して「命」の尊厳を今こそ生きる基本にしなくては…